

静岡県オリンピック・パラリンピック推進課主催のオリエンテーション基礎研修が始まった。応募者約900人がこの研修に参加します。第1回基礎研修では、基礎研修Aと基礎研修Bの講座があります。

研修Aは、グランシップ(静岡市)、プラサヴェルデ(沼津市)で10月6日(土)～11月28日(水)の間に計6回実施され、いずれか1回受講することになります。そして研修Bは、伊豆市で開催される自転車競技場伊豆ペドロームにて11月4日(日)及び12月2日(日)にて実施されます。これもいずれか1回受講することになります。

初日の基礎研修は、10月6日(土)14:00～17:00グランシップで150名が参加しました。私も応募者の一人として参加しました。男女半々、年代別では学生、サラリーマン、シニア各3割と見受けられました。

講義内容はおもてなしの心を学ぶものです。

- 1.静岡県オリンピック・パラリンピック推進課長 鈴木 学氏
「私たちが作る静岡の未来を彩るおもてなし」
- 2.KNTホールディング 村澤 雅広氏
「リオ、オリンピック・パラリンピックのボランティア活動」
- 3.伊豆箱根バス会社のガイド 小笠原 淑恵氏
「静岡県のインバウンド観光について」
- 4.東京マラソン財団 市川 進一氏他
「都市ボランティア活動のスキルアップ」

講義の中のワークショップでは、ジュニア、シニアが手を取り合いコミュニケーションの実践を楽しみました。

おもてなしの基本はエチケットを守り、相手の気持ちを察し、そしてアイコンタクトをとることが肝心と心に留めました。

東京2020オリンピックパラリンピックに向けた静岡県都市ボランティアについて

問い合わせ先： 静岡県観光部スポーツ局
オリンピック・パラリンピック推進課
電話 054-221-2744

(参加取材 撮影禁止 富士・富士宮地区特派員 原 義廣)